



# 和's YAMATO (わずやまと)

2024  
春号

- 写真で楽しむ群馬の自然「赤城南面千本桜」
- お客様紹介 月夜野 上牧温泉 辰巳館
- 群馬の芸術家 井田秋雄
- 郷土史跡めぐり 赤堰茶臼山古墳(群馬県伊勢崎市)
- 歴史の舞台となった街道 鎌倉街道
- 藤原道長の昇進と紫式部の離京
- 源氏物語と藤原氏



「花のかさ」雪柳と黄蝶」F6号 須藤和之画 ヤマトビオトープ園にて

## 写真で楽しむ 群馬の自然



群馬県前橋市の「赤城南面千本桜」は、3月下旬から見ごろとなり、毎年多くの観光客が訪れる前橋市を代表する桜の名所です。約1.3kmの市道は、満開時にはソメイヨシノが咲き誇り、ピンク色の見事なトンネルとなり、桜と菜の花との競演も楽しめます。



### 赤城南面千本桜

住所: 群馬県前橋市苗ヶ島町

撮影 藤重 朋紀 氏

略歴 1952 群馬県利根郡みなかみ町生まれ  
1971 群馬県立渋川高等学校卒業  
1972 東京写真専門学校中退

1979 コマーシャルフォトスタジオ創美社入社  
2001 フリー  
2010 写真集「上州路・一本桜」  
2011 写真集「上州路」

#### 須藤 和之 Kazuyuki sutoh プロフィール PROFILE

表紙の絵「『花のかさ』雪柳と黄蝶」

1981年 群馬県前橋市生まれ  
 2005年 多摩美術大学絵画学科日本画専攻卒業 2007年 東京藝術大学大学院 美術研究科 文化財保存学専攻 保存修復日本画修了  
 2010年 同大学大学院 保存修復日本画博士課程修了 博士号取得 博士審査 小仏壇のはせがわ賞特別賞 個展(画廊翠巒)(同2011~24)  
 2011年 中央電機商会カレンダー原画(2011~24) 2013年 アーツ前橋開館記念展出品、群馬銀行創立80周年記念 収蔵作品制作、慶應義塾大学非常勤講師(2013-2023)  
 2014年 個展(日本橋三越本店) (同2017,20,23) 2017年 群馬県展 県知事賞 2016年 個展(株式会社ヤマト)  
 2019年 高崎市タワー美術館トップランナーⅢ出品 2020年 上毛芸術文化賞受賞 2022年 個展(株式会社ヤマト)  
 2023年 群馬銀行創立90周年記念 収蔵作品制作 現在 日本美術院院友 群馬県美術会会員 慶應義塾大学非常勤講師  
 OFFICIAL WEBSITE:SUTOOO.NET URL: http://sutooo.net/



### 和's YAMATO (わずやまと) 春号 2024 (第60号)

【和's yamato】の由来

ヤマトの漢字の「和」、Water&Airの頭文字を合わせて「WA」、「S」はスタート。

和's YAMATO 初春号 2024年(令和6年) 3月発行

発行:株式会社ヤマト(広報室)群馬県前橋市古市町118 tel:027-290-1891 fax:027-290-1896

#### 建設プロダクト ヤマト

株式会社ヤマト 群馬県前橋市古市町118 〒371-0844 TEL.027-290-1800(代) FAX.027-290-1896

支店/東京、埼玉、栃木、横浜、千葉、高崎、東北 営業所/軽井沢、伊勢崎、神奈川県央、茨城、太田、東松山、新潟、長野、渋川、川口、多摩、横須賀、滋賀、青森  
附属施設/大和環境技術研究所、大和分析センター、加工センター、朝倉工場、教育センター、コンタクトセンター、サポートセンター、プロダクトセンター  
ヤマトホームページ <https://www.yamato-se.co.jp/>



# 源氏物語と藤原氏

## 偶然が重なり

### 出世する道長

寛和(かんな)2年(986)、紫式部の父・為時が仕えていた花山(かざん)天皇は藤原兼家の策略で退位させられた。(寛和の変)。天皇に即位したのは7歳の一条天皇で、外祖父の兼家が摂政に任じられる。父が摂政に就任したことにより、五男の藤原道長にも出世の道が開けていく。寛和2年には五位藏人、少納言、左近衛少将(さこのえしょうしょう)を歴任し、永延元年(987)には従三位に叙せられた。この年に道長は22歳となり、左大臣・源雅信(まさのぶ)の長女で、宇多天皇の曾孫にあたる倫子(ともこりんし)と結婚した。

倫子は道長より2歳年上で、当時と

の配慮で、為時の任官が実現したと考えることもできる。為時の赴任先は当初淡路国だった。律令国家の区分では、淡路国は格下の下国で、越前国は格上の大国だった。為時は淡路から越前に急ぎよ赴任先が変更されたが、その理由は、越前に交易を求めて渡来した宋(中国)人の応対役として、漢文に精通していた為時が適任と判断されたからである。

越前までの行程は、平安京から出たことのない式部にとって、琵琶湖で舟に乗るなど、未体験の連続だった。近江と越前の国境は峠越えの難所があり、楽な旅ではなかったと推察される。越前の国府は武生(現在の越前市)で、一行が国府に着いた時には初雪があり、式部は越前の寒さに震え、到着早々、都を懐かしんだかもしれない。式部が越前に滞在了したのは約1年で、長徳4年(998)の春には、父を残して単身で帰京する。その理由は、親子ほど年齢が離れた藤原信孝との結婚を決意したからだといわれている。

次号に続く(文:木下直也)



紫ゆかりの館(国府資料館)の展示

越前市東千福町21-12  
写真提供: (公社)福井県観光連盟

式部が越前での暮らしを原動力に源氏物語を著すまでを絵巻物風に紹介するアニメーション映像や紙人形の行列などを展示している

しては晩婚だった。雅信は摂関家の男を婿に取ることを考えていたが、倫子が適齢期の頃は道隆や道兼は官位が低く、釣り合わなかったため、道長に縁談が持ち込まれたのかもしれない。道長にとっては、幸運にも時期的なめぐり合わせで有力者の娘と結ばれた。道長は倫子と結婚したことにより、宇多源氏の高貴な血筋と、雅信の政治的後見を受け、関白になる可能性が出てきた。長徳元年(995)には疫病が大流行し、次期関白の座を争っていた中納言以上の公卿が相次いで死去したこともあり、次期政権を担うのは道長か、道隆の子・伊周に絞られた。長徳元年5月、道長は一条天皇から内覧(天皇に奏上すること)の宣旨を賜り、政権の座に就いた。

## 藤原道長の昇進と紫式部の離京

### 紫式部公園の紫式部像

福井県越前市東千福町20  
写真提供: (公社)福井県観光連盟



### 都を離れ 越前で暮らす式部

長徳2年(996)、紫式部は父の藤原為時が越前の受領(地方の役人)に任官したため同行する。為時は花山天皇から信頼されていたが、寛和2年(986)の寛和の変で花山天皇が退位すると為時は失職してしまふ。為時はその後10年間無官だったが、なぜ再び官職を得ることができたのだろうか。それには道長が関係していると推察することができる。

道長は長徳2年の除目(じもく、大臣以外の諸官職を任命する朝廷の儀式)で最高責任者の「除目の上卿(じょうけい)」を初めて務めた。道長にいわば人事権が発生したことにより、道長

### 紫式部と藤原道長の略年表

- 天延元年(973) 紫式部 藤原為時次女として誕生
- 永観2年(984) 円融天皇が譲位し、花山天皇が即位
- 寛和2年(986) 花山天皇が出家し一条天皇が即位(寛和の変)
- 永祚2年(990) 藤原兼家が摂政に就任
- 一条天皇に藤原道隆(兼家の長男)の娘・定子が入内後、中宮になる
- 藤原兼家が死去。道隆が関白に就任、その後摂政に就任
- 正暦2年(991) 詮子(道長の姉で一条天皇の母)が「東三条院」を称する(女院の初例)
- 長徳元年(995) 道隆死去。道兼死去。道長に内覧宣旨
- 長徳2年(996) 紫式部 父・為時とともに越前に下向
- 長徳3年(997) 長徳の変が起こる。藤原伊周が左遷
- 長徳4年(998) 紫式部 越前を離れ単身帰京
- 長保元年(999) 紫式部 藤原宣孝と結婚
- 道長の娘・彰子が一条天皇に入内
- 長保2年(1000) 一条天皇の中宮・定子(伊周の妹)が皇后になり、彰子が中宮となる(二帝二后の初例)
- 長保3年(1001) 紫式部 夫・宣孝が死去。源氏物語執筆開始か。
- 寛弘3年(1006) 紫式部 女房として彰子に出仕(諸説あり)
- 寛弘5年(1008) 紫式部 「紫式部日記」の執筆開始。
- 寛弘8年(1009) 一条天皇が崩御
- 万寿4年(1027) 藤原道長 死去
- 長元4年(1031) 紫式部 式部死去(諸説あり)

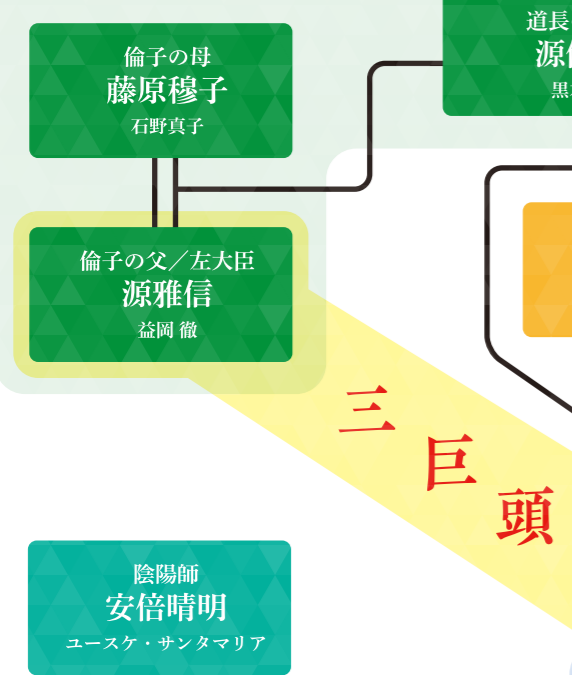


# 道長の同僚・ライバル

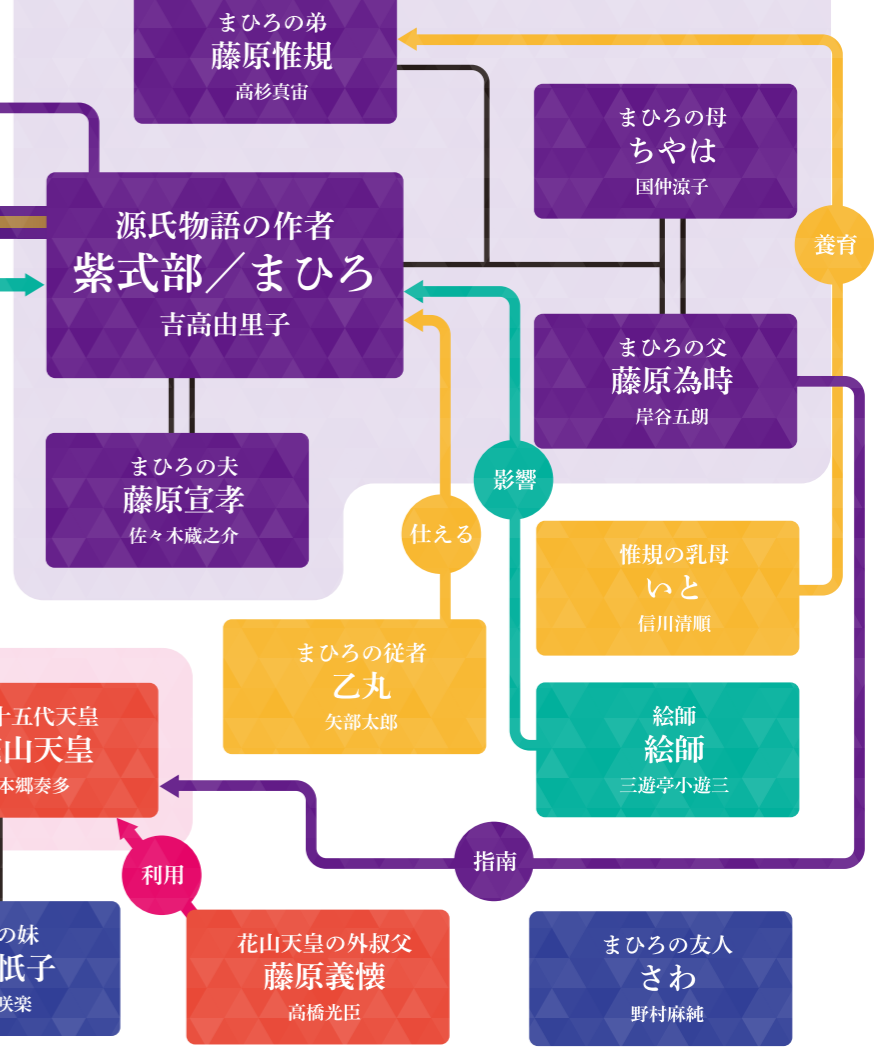
(一条天皇の時代に活躍した四人の公卿 (一条朝四納言))



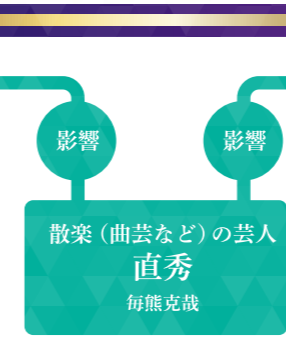
## 倫子の家族



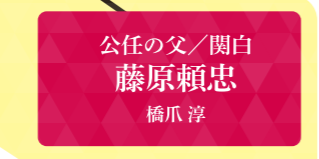
## まひろの家族



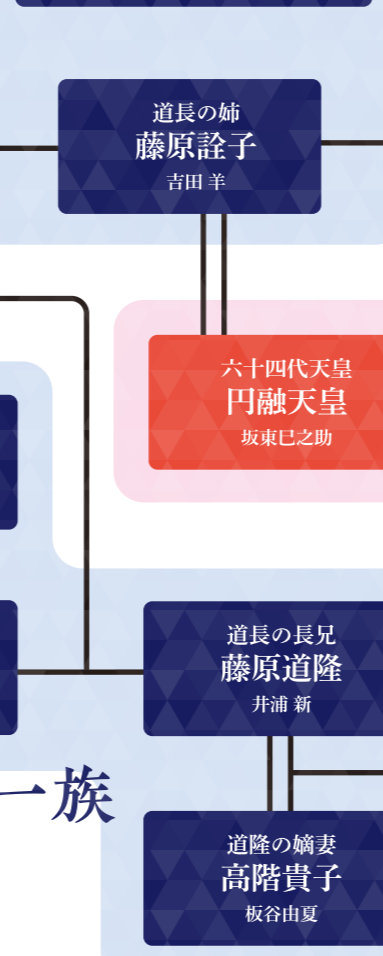
## 特別な結びつき



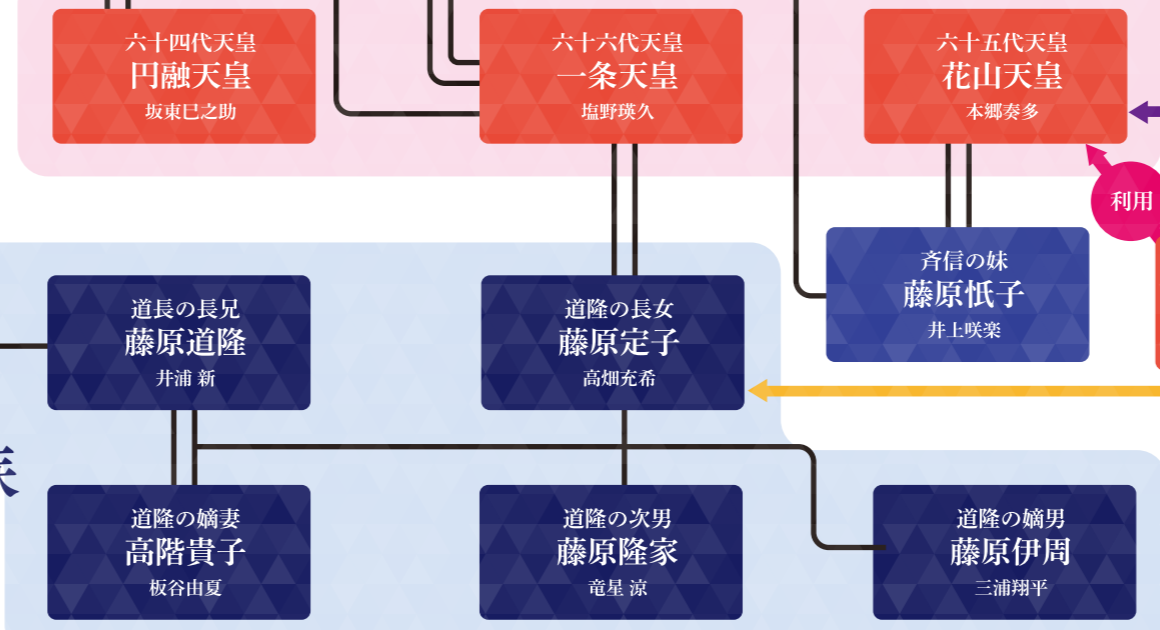
## 三巨頭



## のちの最高権力者 藤原道长



## 天皇



## 道長の一族



# 歴史の舞台となった街道

# 鎌倉街道

歴史研究者  
安藤優一郎

鎌倉時代が終わっても鎌倉街道は「いざ鎌倉」の街道だった。

## 観光都市と なる前の鎌倉

鎌倉といえば、観光地のイメージが非常に強い都市である。鶴岡八幡宮、長谷寺の大仏、鎌倉五山など名立たる寺社の門前町として、京都や奈良のような古都のイメージが定着しているが、鎌倉は幕府という武家政権が最初に誕生した政治都市であった。

鎌倉時代は將軍のお膝元なのであり、鎌倉は政局や合戦の舞台として何度となく歴史に登場する。新田義貞の鎌倉攻めにより鎌倉幕府は滅亡したが、その後も鎌倉が幾度となく合戦場となったことはあまり知られていない。鎌倉が合戦の舞台となった歴史をみていく上で、「いざ鎌倉」のフレーズで知られる鎌倉街道の存在は避けて通

れない。鎌倉と東国各地を結んだ鎌倉街道は、「朝事ある時に鎌倉に駆けつけるための軍事道路であった。幕府滅亡とともに同じくフェードアウトする観があるが、鎌倉が將軍の御膝元であり続けたことで、室町時代に入っても軍用道路として歴史に登場してくる。鎌倉街道を通して、平和な観光地のイメージの裏に隠された合戦場としての鎌倉の歴史に光を当てる。

## 合戦場となった 鎌倉街道

鎌倉街道のなかでも、鎌倉と京都を結ぶ「京鎌倉往還」、鎌倉と東国を結ぶ「上道」「中道」「下道」が代表的な鎌倉街道である。「上道」は武蔵路とも呼ばれた。鎌倉を起点に相模原台地を経由し、関戸で多摩川を渡った。その

軍が三代で途絶えた後、將軍を補佐する執権職にあった有力御家人の北条氏は、京都から幼い親王などを將軍として迎え入れる。政治能力を持っていない皇族などを名ばかりの將軍とすることで、幕府の実権を握った。いわゆる執権政治である。

北条氏は執権はじめ幕府の要職を一族で独占したが、幕政から排除された他の有力御家人たちの間には北条氏に対する不満が募っていく。その不満が一気に爆発するきっかけとなったのが、天皇親政の実現を念願する後醍醐天皇の倒幕運動だった。

元弘三年（一二三三）五月七日、有力御家人の足利高氏は北条氏が京都に設置した出先機関の六波羅探題を攻め滅ぼす。同じ頃、天皇の命令に呼応して鎌倉を目指す大軍が鎌倉街道を南下していた。高氏と同じく源氏の流れを汲む新田義貞率いる軍勢だった。高氏が六波羅探題を攻め滅ぼした直後の五月八日、義貞は上野国の生品明神で挙兵する。そして、鎌倉街道のうち「上道」を経由し、一路鎌倉へ攻め上った。幕府の実権を握る北条高時は義貞の挙兵を受け、北条一門の桜田定国率いる軍勢を急派する。北条勢が取った道も「上道」だった。両軍は鎌倉街道で何度も激突する。

同日、新田勢は武蔵国小手指が原（現埼玉県所沢市）で北条勢を破った。翌十二日には久米川（現東京都東村山市）でも勝利を収める。北条勢は多摩川まで後退し、分倍河原（現東京都府中市）で陣を張った。多摩川を背に背水の陣を引いた北条勢は、破竹の勢いだった新田勢を破る。

ところが、その後に新田勢の夜襲を受け、十六日には多摩川の防衛ラインが突破されてしまう。勢に乗った新

## 鎌倉街道の 概要図



田勢は敗走する北条勢を追って「上道」を南下し、一気に鎌倉に攻め寄せた。高時は鎌倉で最後の防戦を試みる。主戦場となったのは、七つの切通しのうち巨福呂坂切通、極楽寺坂切通、化粧坂切通の三口であった。戦いは十八日からはじまるが、新田勢は北条勢による必死の防戦の前に苦戦を強いられる。巨福呂坂では北条

一門で最後の執権赤橋守時を自害に追い込むが、北条勢が激しく抵抗したため突破できなかった。極楽寺坂では同じ北条一門の大仏貞直、化粧坂でも同じく一門の金沢貞将の抵抗を受けて立ち往生を強いられる。そこで、義貞は極楽寺坂近くの稲村ヶ崎に向かう。二十一日夜、相模湾を臨む稲村ヶ崎で潮が引くことを念じながら海中に剣を投げ入れたところ、はかったように潮が引きはじめた。苦

## 新田義貞の鎌倉攻め

源実朝が鶴岡八幡宮で甥の公暁に殺害されて源氏の將

後、武蔵国の国府があった府中から北武蔵そして上州・信州へと向かった。「中道」は二子で多摩川を渡り、現在の東京都内を通過した後、下野を経由して奥州に向かった。「下道」は丸子で多摩川を渡り、常陸を経由して奥州へ向かった。

鎌倉街道は源頼朝が鎌倉に幕府を開いたことにはじまる。鎌倉を本拠とした初代將軍の頼朝は各地の武士と主従関係を取り結び、御家人とした。歴史教科書には必ず記述がある「御恩と奉公」の関係であり、この持ちつ持たれつの関係が鎌倉幕府を支えた。幕府から軍事動員がかかる時、御家人たちは鎌倉街道を通って鎌倉に馳せ参ることが義務付けられた。「いざ鎌倉」である。京都や東国に向けて放射線状に走る鎌倉街道とは、御家人を鎌倉に速やかに集結させるための軍用道路であった。鎌倉幕府を守るための道だった。だが、鎌倉を守るためだけに使われたのではない。鎌倉を攻める道にも転じてしまったことは、これから述べていくとおりである。

戦していた新田勢は勇氣百倍となり、岬際から鎌倉への突入を開始する。

巨福呂坂などで防戦していた北条勢は虚を突かれた形となり、死守していた防衛線も崩れはじめる。新田勢は次々と鎌倉に乱入し、北条氏の敗北は決定的となった。北条一門が次々と討たれるなか、高時は最後の時が迫ったことを悟る。元弘三年五月二十二日、北条氏の菩提寺東勝寺に集結した高時以下一門は自害して果てた。ここに、約五十年続いた鎌倉幕府は滅んだ。

## 北条氏の鎌倉攻め と足利氏の 鎌倉奪還

このように、新田義貞の鎌倉攻めでは鎌倉街道が戦場となった。新田勢は北条勢を破って鎌倉を攻め落とし、が、わずか二年後には攻守所を転じている。

逆に、北条勢が鎌倉街道を経由して鎌倉に攻め込んだのだ。再び鎌倉街道が戦場となった。いわゆる中先代の乱である。

鎌倉幕府滅亡後、後醍醐天皇は武家政治(幕府)を否定し、建武の新政と称される天皇親政を開始する。だが、足利尊氏(高氏から改名)たち有力武士の面々は、北条氏が執権として牛耳る鎌倉幕府を倒す意図はあったものの、約五十年続いた武家政治までは否定していなかった。よって、建武の新政は武士たちを大いに失望させたが、そうしたなか、滅んだはずの北条氏が幕府再興を目論む。

北条一門は鎌倉で自害したが、高時の忘れ形見である北条時行は信濃国の諏訪氏のもとに保護されて、捲土重来の時節を窺っていた。

建武二年(二三三)七月十四日、諏訪頼重たちに擁立された時行は信濃で挙兵する。建武の新政への不満を背景に、信濃を席卷した北条勢は上野国そして武蔵国に入る。鎌倉幕府再興を期待する東国の武士たちで膨れ上がった北条勢は、二年前に新田勢が進撃した「上道」を経由して鎌倉に向かった。

こうして、鎌倉街道が再び戦場となる。

北条勢を待ち構える鎌倉には、関東の統治機関として鎌倉将軍府が置かれていた。天皇の皇子成良親王が将軍に据えられ、尊氏の弟直義が親王を補佐した。

「上道」を北上して北条勢の南下を阻止しようとした足利勢だが、武蔵国の女影が原や小手指が原で敗れる。その後も鎌倉街道の各所で敗退したため、直義は鎌倉放棄を決断する。同二十五日、北条勢は足利勢の去った鎌倉を占領した。

成良親王を奉じて三河まで後退した直義は、京都にいた兄尊氏に救援を求める。尊氏は天皇の制止を振り切り、鎌倉に向かった。これまでは「上道」と呼ばれた鎌倉街道が戦場だったが、今度は「京鎌倉往還」と呼ばれた鎌倉街道が戦場となる。足利勢は破竹の勢いで北条勢を破った。八月十九日には鎌倉を奪還するが、その後も鎌倉をめぐる攻防戦は続く。鎌倉に入った尊氏は天皇に反旗を翻す。そのため、天皇は義貞率いる尊氏討伐軍を京都から鎌倉に向かわせたが、十二月十一日の箱根竹の下の戦いで新田勢は足利勢に敗れる。尊氏は逃げる義貞を追って西に向かい、京都の占領にも成功した。

とみた新田義貞の遺子義興・義宗兄弟は、文和元年(三三二)閏二月十五日に上野で挙兵する。父義貞に倣って鎌倉街道の「上道」を南下し、鎌倉を目指した。鎌倉の足利勢も同じく「上道」を北上して迎撃したが、敗北を喫する。

その勢いで、同月十八日には早くも鎌倉を占領したが、その期間は半月にも満たなかった。三月二日に、新田勢を破った足利勢が鎌倉を奪還したからだ。義貞の鎌倉攻めの後も、鎌倉そして鎌倉街道は幾度となく戦場となっていた。観応の擾乱が尊氏の勝利に終わると、室町幕府の基盤もようやく固まるが、鎌倉をめぐる攻防戦は終わらなかった。鎌倉街道も再び戦場となるのである。

## 鎌倉府の消滅と その後の鎌倉

尊氏は京都で幕府を開いたこともあり、関東にはミニ幕府とも言うべき鎌倉府を別に置いた。息子の基氏を鎌倉(関東)公方として派遣し、関東の統治を任せる。尊氏の嫡男義詮とその子孫が将軍職を代々継承したのに対し、義詮の弟にあたる基氏とその子孫は鎌倉公方を継いだ。

ところが、時が経つにつれ、将軍と鎌倉公方の関係が悪化していく。鎌倉公方が幕府から独立する傾向が顕著となり、統制が効かなくなる。鎌倉公方とその下で政務を執った関東管領の上杉氏の関係も良好ではなかった。公方足利持氏と管領上杉氏憲(禅秀)の時に、その対立が表面化する。応永二十三年(四二六)十月二日、禅秀が鎌倉で挙兵したため、持氏は命からがら駿河国に逃亡する。

## 繰り返される 鎌倉攻防戦

その頃、天皇の命を受けて奥州から尊氏討伐に向かった北畠顕家は尊氏不在の鎌倉を攻略していた。だが、顕家は尊氏を追って京都に向かったため、鎌倉は足利勢に奪還されてしまう。京都に向かった顕家は義貞や楠木正成とともに、京都占領中の尊氏との戦いに勝利し、九州へ敗走させた。翌建武三年(二三三)一月のことだが、その後、顕家は奥州にいったん戻っている。

ところが、九州で勢力を挽回した尊氏が京都を目指して攻めのぼって来た。天皇の命を受けて尊氏を迎撃しようとした正成は摂津国の湊川で敗れ、同年五月に自害して果てる。義貞も敗走した。京都は再び尊氏に占領されたため、顕家はもう一度西上の途に就くことになる。

同四年(二三三)八月、関東に入った顕家は各所で足利勢を破り、十二月二十四日には鎌倉の攻略に再度成功する。鎌倉街道のうち、「中道」か「下道」のコースを取って鎌倉に向かったのだろう。暦応元年(三三八)一月、鎌倉を出陣した顕家は京都に向けて進軍した。各地で足利勢を破ったが、同年五月に和泉国の堺で討死する。閏七月には、越前国の藤島で義貞も討死した。天皇を支える諸將を次々と討ち取った尊氏は、この年の八月に征夷大將軍の座に就き、室町幕府が誕生した。

しかし、今度は幕府内で内輪もめがはじまる。將軍の尊氏と弟直義の関係が悪化し、ついには観応の擾乱と呼ばれる武力抗争に発展したのだ。幕府の内部分裂を好機とする。その後、同族の上杉憲実が管領職を勤めたが、今度は持氏と憲実が対立する。永享十年(四三八)八月に身の危険を察知した憲実が鎌倉を脱出すると、持氏は討伐軍を派遣した。窮した憲実は幕府に救援を求めた。兼ねてより鎌倉公方を抑え込みたかった幕府はこれを好機として、持氏の討伐に乗り出す。永享の乱のはじまりであった。こうして、鎌倉をめぐる攻防戦が再現される。鎌倉街道も再び戦場となるが、戦いは幕府軍の勝利に終わり、翌年二月に持氏は自害して果てた。翌四年(四五五)、持氏の子である成氏は、鎌倉を出陣して「上道」を北上し、武蔵国の分倍河原で上杉勢を破ったが、その間に鎌倉を奪われる。成氏は下総国の古河に入り、古河公方として上杉勢との戦いを続けた。以後、足利一門が公方として鎌倉に入ることはなく、ここに鎌倉府は事実上消滅する。

幕府は禅秀討伐に乗り出し、鎌倉から出陣してきた上杉勢を鎌倉街道の「上道」で破った。翌二十四年(四二七)一月十日、追い詰められた禅秀は鎌倉で自害し、乱は最終する。その後、同族の上杉憲実が管領職を勤めたが、今度は持氏と憲実が対立する。永享十年(四三八)八月に身の危険を察知した憲実が鎌倉を脱出すると、持氏は討伐軍を派遣した。窮した憲実が鎌倉に救援を求めた。兼ねてより鎌倉公方を抑え込みたかった幕府はこれを好機として、持氏の討伐に乗り出す。永享の乱のはじまりであった。こうして、鎌倉をめぐる攻防戦が再現される。鎌倉街道も再び戦場となるが、戦いは幕府軍の勝利に終わり、翌年二月に持氏は自害して果てた。翌四年(四五五)、持氏の子である成氏は、鎌倉を出陣して「上道」を北上し、武蔵国の分倍河原で上杉勢を破ったが、その間に鎌倉を奪われる。成氏は下総国の古河に入り、古河公方として上杉勢との戦いを続けた。以後、足利一門が公方として鎌倉に入ることはなく、ここに鎌倉府は事実上消滅する。

鎌倉をめぐって激しい攻防戦が繰り返された理由は、何よりも鎌倉府があったことに求められるが、鎌倉府の消滅により関東の中心としての地位を失うことで、鎌倉をめぐる攻防戦も鎮静化していく。その後、鎌倉に代わって小田原が関東の中心となる。関東の覇権を握った戦国大名の北条氏が小田原城を居城としたからだ。それに伴い、鎌倉は合戦の舞台でも政局の舞台でもなくなる。鎌倉街道も軍事道路としての役割を失っていった。

鎌倉街道が合戦の舞台を用意した格好だったが、戦国時代を機に鎌倉が將軍のお膝元ではなくなることで、江戸時代には現代につながる観光都市へと変身する。鎌倉街道も観光地鎌倉への道に変わっていくのであった。

鶴岡八幡宮



# 赤堀茶白山古墳

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 上席調査研究員 関口博幸

赤堀茶白山古墳は、伊勢崎市赤堀今井町二丁目に所在する市指定史跡(平成16年指定)で、多田山の頂上付近(標高約140m)に築かれた古墳です(図1)。

広大な関東平野がやがて赤城山南麓へと移る伊勢崎市(旧赤堀町)北西部から前橋市東部には多田山や轟山、吉沢峯、峯岸山、石山などの流れ山と呼ばれる小高い丘陵がいくつも点在しています。赤堀茶白山古墳のある多田山からの眺望は特に良く、東側に田園に浮かぶ大蛇伝説の毒島城を、西側約1.2kmに前中・後二子古墳の3つの前方後円墳が並ぶ大室古墳群を望むことができます。

流れ山が集中する伊勢崎市北西部の丘陵地帯は、県内でも有数の古墳群が残された場所です。その中心が赤堀茶白山古墳で、南には唐三彩陶枕の出土で話題となった多田山12号墳もありました。残念ながら、今では開発の波の中で古墳群や丘陵地帯の景観の多くが失われ、赤堀茶白山古墳のある多田山

北半部にかつての面影を残す程度となりました。まいました。

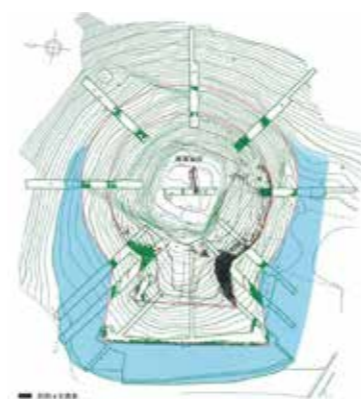
赤堀茶白山古墳は、墳丘全長62.4m、後円部径50.2m、高さ6m、前方部長18m、高さ4mの前方後円墳で、5世紀の築造と考えられています(図2)。前方部が短いため帆立貝形古墳とも呼ばれます。

1929(昭和4)年に帝室博物館(現東京国立博物館)の後藤守一により発掘され、後円部墳頂から有名な家形埴輪群(8棟)をはじめ、円筒形、椅子形、高坏形、鶏形、朝顔形、円筒形など豊富な内容を持つ埴輪群が出土しました(図4)。家形埴輪群の下には2基の埋葬施設があり、1号木炭塚からは六神像鏡、刀、剣、短甲、衝角付冑、鉄鏃、石製模造品など、2号木炭塚からは内行花文鏡、刀などの副葬品が出土しました。その後、1995(平成7)年からの赤堀町教育委員会(現伊勢崎市教育委員会)の発掘で、詳細な古墳の形や大きさが判明し、鶏形埴輪や形象埴輪など多数の埴輪が出土しまし



1 赤堀茶白山古墳全景

1995年からの確認調査、西方から撮影。手前が前方部、中央が後円部。  
 出展:伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館2022



2 赤堀茶白山古墳測量図

出展:伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館2022 2024年2月撮影(北西から)



3 赤堀茶白山古墳

た(図6左・註1)。

1世紀前後の後藤の発掘は、帝室博物館だけでなく、柴田常恵や岩澤正作、相川龍雄など群馬の考古学の礎を築いた錚々たる研究者をはじめ、郷土への愛着と探究心にあふれた地元青年団や住民の協力のもと官民あげて成された発掘でした。

被葬者は、古墳の形や規模、家形埴輪群をはじめとする豊富な埴輪と副葬品からみて、ヤマト王権と関係の深い豪族すなわちこの地域の王で、古墳に並べられた家形埴輪群は王が暮らした生前の居館を再現したものと考えられます。

家形埴輪群は、住居群と倉庫群で構成されます。住居群は切妻造で、そのうち唯の堅魚木で飾る切妻造家が主屋、ほかは副屋と納屋、倉庫群は切妻造と寄棟造の高床倉庫があります。そして、伊勢崎市教育委員会が発掘した釜ノ口遺跡(南へ約3km)で重要な発見がありました。寄棟造倉庫とそ

つくりな家形埴輪(図6右)と鶏形埴輪の羽破片が出土し、羽破片はかつて赤堀町教委が発掘した鶏形埴輪本体となんと接合したのです。こうして釜ノ口遺跡は埴輪工房で、そこで製作された埴輪が赤堀茶白山古墳へと運ばれてきたことがわかったのです。

では、家形埴輪群は後円部墳頂にどのよう

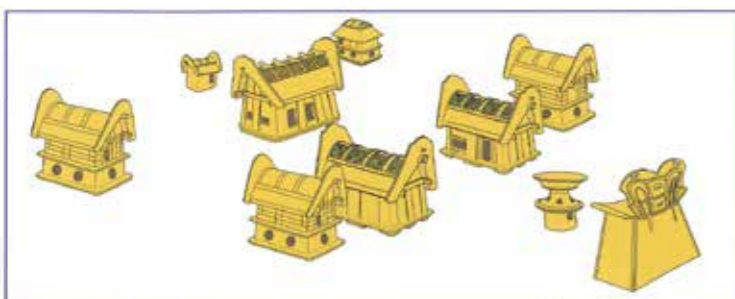
に配置されていたのでしょうか。埴輪の多くは地表面に散在した破片でしたが、後藤は詳細に検討して堅魚木の主屋を中心に置いて、その横と前方に左右対称形の副屋と倉庫、後方に小さな納屋、さらに主屋の正面に高坏形と椅子形埴輪を置き、古墳の主軸に沿った配置案を考えました(図5)。家形埴輪群の配置や性格の解釈には諸説ありますが、後藤の考えは家形埴輪研究の先駆けとなり、古墳時代の建築様式だけでなく豪族居館や祭祀研究に大きな影響を与えました。

の二頁を飾る後藤の発掘成果と赤堀歴史民俗資料館が進めている研究が融合して、赤堀茶白山古墳の価値は層高まっています。古墳は今も大切に守られ、静寂に包まれた丘陵の上でひっそりと威容ある姿を見ることができ(図3)。耳を澄ませて古墳を見上げれば、発掘に沸いた後藤と地元住民たちの百年前の歓声、墳丘の上で家形埴輪を並べている1600年前の古墳人の姿が蘇ってきます。そんな想いを巡らしながら赤堀茶白山古墳や毒島城、大室古墳群などを散策して(註2)、赤堀歴史民俗資料館へと足を運んでみてはいかがでしょうか。



4 1929年の発掘で出土した家形埴輪と器財埴輪

東京国立博物館蔵 出展:ColBase(<https://colbase.nich.go.jp/>)



5 家形埴輪群の配置復元図

赤堀歴史民俗資料館作成  
 出展:伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館2022



6 赤堀歴史民俗資料館で展示されている埴輪

左:赤堀茶白山古墳の鶏形埴輪と形象埴輪 右:釜ノ口遺跡の家形埴輪、赤堀歴史民俗資料館蔵

引用文献

- 伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館 2022『令和4年度伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館企画展「赤堀茶白山古墳—東国屈指のハニワたち—」』伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館
- 伊勢崎市教育委員会 2023『赤堀茶白山古墳リーフレット』伊勢崎市
- 後藤守一 1933『上野国佐波郡赤堀村今井茶白山古墳』帝室博物館

註

- 出土品は、帝室博物館発掘分が東京国立博物館、赤堀町教育委員会発掘分が赤堀歴史民俗資料館にそれぞれ保管されている。赤堀歴史民俗資料館は、赤堀茶白山古墳の鶏形埴輪や釜ノ口遺跡の家形埴輪を間近に見学でき、ほかにも多数の埴輪や縄文土器、民俗資料もありとても見応えのある展示です。
- 赤堀茶白山古墳の周辺道路は狭いため、見学には大室公園から徒歩で行くことをお勧めします。

## 井田秋雄

美術研究家 染谷滋

## 風景と社会に向けた静かなまなざし

## 群馬の戦後美術を生きた

昨年米寿を迎えた洋画家・井田秋雄の前回の個展は4年前のことで、アーツ前橋をメイン会場とした二度目の「前橋の美術2020」の協力企画としてノイエス朝日が開催したものだ。今回、三度目となる「前橋の美術2024」では、ヤマトギャラリーホールで「三人展」が開催され、久し振りに井田秋雄の作品がまとまって見られる機会を得た。ほかの二人には申し訳ないが、この機会に井田秋雄を取り上げて紹介しておきたい。

井田は4年前に群馬県美術会の会長を譲ったが、今でも本県を代表する画家のひとりで、その画業をたどると、群馬の戦後美術史の大きな水脈を見ることができ、長い間美術教師としても生き、文字通り本県の美術文化を育ててきた人物だ。

## 井上房一郎に見込まれる

井田秋雄は一九三五(昭和一〇)年一〇月三日、群馬郡京が島村字秋原に生まれた。現在の高崎市秋原町で、東側には利根川が流れ、川の対岸は前橋市公田町だ。今でこそ昭和と大橋が架かり、県道の高崎駒形線が大動脈として町を貫通しているが、橋の完成は一九七二(昭和四七)

年のことで、それまでは「公田の渡し」と呼ばれた渡舟が運行していた。

後年の井田が大きなテーマとする「対岸の風景」は、幼少期にいつも見ていたこの場所が原風景になっている。母親は対岸から嫁いできており、渡舟に乗ってよく母の実家に遊びに行った。

5歳の頃に高崎市内に転居。当時末広町にあった県立高崎女子高校の近くだった。小学生の頃から絵が得意で、戦時中は戦争画を描いて貼り出された思い出もある。四年生のときに終戦。一九五二(昭和二六)年、進学する直前の県立高崎高校の校舎が全焼する出来事があり、高校一年生のときは高崎連隊の旧兵舎を使用した。

高校二年生のとき、井田の人生を大きく動かす出会いがあった。芸術文化を応援し続けた実業家・井上房一郎に見込まれたのだ。井上は井田の絵の才能を見抜き個別指導を行った。週に一度は学校に電話があり呼び出された。絵を一生の仕事にするつもりになった井田だったが、井上が両親に直談判して美術学校への進学を認めさせてしまった。

井田の作風も、自然破壊をテーマにシヨベルカーなどを描いていた時期もあるが、直接的な表現は次第に影を潜め、風景画が中心となった。切り崩された山肌や、風除けのために植えられた檜ぐねなどが多く描かれ、人の営みの犠牲になった自然が隠されたテーマとなっている。

高校生の頃に教わった井上房一郎の絵画論は、画面構

## 人生の岐路、郷里での活躍

一九五四(昭和二九)年、現役合格が難しいとされる東京藝術大学油画科に見事合格。出費を抑えるために高崎から通学した井田は、週2回井上が経営する現代美術研究所で絵の指導も行った。

東京藝大の同級生には、工藤哲巳、高松次郎、中西夏之など、戦後日本の前衛美術を担う若者が顔をそろえていたが、セザンヌを中心とした近代絵画を至上のものとする井上房一郎の影響下では、井田が前衛美術へ向かうことはなかったようだ。それでも、同級生たちの行動力と社会批判の鋭いまなざしは、井田の血の中にも流れていた。

一九五六(昭和三一)年四月、高崎の若い画学生たち二〇名以上を団結させ、画期的なグループPQRTを創立。武蔵野美術大学や女子美術大学、群馬大学などの学生が高崎貿易会館で展覧会を開催した。この会は三年ほど続き、5回の展覧会と3号までの会報が確認されている。

一九五八(昭和三三)年三月、東京藝大卒業。井田は引き続き専攻科に進学、絵の道を究めるつもりでいたが、沼田女子高校での教職の話があり、東京通いを断念せざるを得なくなった。

成上の三つの中心点を強調するものだったが、それ以上に絵を描く動機や感動、何を作品に込めるのかという作者の思想を重視した。それはそのまま人の生き方に直結した。

井田秋雄の画家人生も、作品そのものの魅力はもとより、歩んできた道のりの豊かさに、もつと目を向けても良いのではないだろうか。

## 教師と絵描き、休みなき活動

美術教師としての井田の経歴は、沼田女子高校に5年、渋川高校に4年、前橋工業高校に14年、高崎女子高校に15年と続いた。高崎女子高校を一九九六(平成八)年に定年退職した後も、同校の非常勤講師としてさらに10年を勤務している。美術教師としての年数は実に48年を数える。その間の教え子たちの中には、美術家として成長した者も多い。

一方で、絵描きとしての社会活動も休みなく続いている。一九六〇(昭和三五)年、群馬アンデパンダン協議会を結成して会長に就任。この協議会は美術だけでなく、文学、音楽、演劇等を含めた様々な団体の集合体だったが、一九六一年に一度展覧会を開催しただけで終わった。

様々な試みの後一九六三(昭和三八)年、群馬美術家集団レアリスト結成。この会は長く続き、展覧会だけでなく、講演会や研究会の開催、様々な社会問題へのアピールなど、制作発表だけにとどまらない運動を継続して行った。

## 風景に込めた思い

井田が属する日本美術会は、日本アンデパンダン展を開催するだけでなく、自由と平等、批判精神と創造性をモットーに、戦争反対や憲法第九条の堅持などの社会運動にも熱心だ。



棟名南麓 タテ 58cm×ヨコ 71cm 素材:紙 アクリル

## 略歴 井田秋雄 TOKIO IDA

- 1935 10月3日、群馬郡京が島村(現在の高崎市)に生まれる。
- 1954 県立高崎高校を卒業し、東京藝術大学油画科に入学。
- 1956 高崎でグループPQRTを結成。
- 1958 東京藝術大学を卒業後、沼田女子高校で教職に就く。
- 1959 第1回個展を高崎・珍竹林画廊で開催。
- 1960 群馬アンデパンダン協議会を結成し、翌年第1回展開催。
- 1963 渋川高校に異動。
- 1967 群馬美術家集団レアリスト結成。翌年第1回展開催。前橋工業高校に異動。
- 1980 井田淳、木村仁と三象会結成。(1986)
- 1981 第1回秋季換乎堂創作展に出品。
- 1987 高崎女子高校に異動。
- 1991 第1回現代リアリズム展(前橋市民文化会館)。
- 1991 高崎美術館開館記念展「たかさきの美術今」に出品。
- 1994 第34回換乎堂美術展に出品。
- 1995 群馬県立近代美術館「群馬の作家たち」に出品。
- 1996 前橋文学館「現代前橋美術作家展」に出品。
- 1996 高崎女子高校を定年退職後も非常勤講師として10年勤務。
- 2000 グループ地平会員展。(東京都立美術館ほか)
- 2012 高崎市美術館「アートのシリーズ」に出品。
- 2017 群馬県美術会会長に就任。(2020)
- 2020 前橋・ノイエス朝日で個展。

# 月夜野 上牧温泉 辰巳館

群馬県みなかみ町



リニューアル客室の浴室



月夜野 上牧温泉 辰巳館 外観

温もりの宿・辰巳館（月夜野 上牧温泉）は、2023年12月に露天風呂付客室のリニューアル工事と、2024年1月に新設の貸切風呂の設置工事を実施しました。リニューアルされた客室は、源泉かけ流し半露天風呂付ユニバーサルルームとなっています。お部屋の入り口は段差を無くしフラットで、車椅子の利用やご高齢の方でも過ごしやすいユニバーサルデザインのお部屋となっております。半露天風呂は4人でも入っても十分な広さです。新設の貸切風呂は、「茶室風」の施設で、畳でくつろぐスペースや、石庭を眺めるデッキスペースを備えています。建設プロダクトのヤマトは、客室の改修工事と貸切風呂の新設工事に携わりました。

### 主要施設概要

- 客室…41室
- 総収容人数…180名
- 大浴場…はにわ風呂・かわせみの湯・ひすいの湯
- 貸切風呂・庭園露天風呂
- 各種施設…炭火食事処、和風宴会場、コンベンションホール
- 所在地…群馬県利根郡みなかみ町上牧2052
- お問い合わせTEL…0278-723055(代)
- URL : <https://www.tatsumikan.com>

## 温もりの宿辰巳館

代表取締役社長 深津卓也



今回の改修工事では、ヤマト様が大変お世話になり、感謝しています。改修のコンセプトは「ユニバーサルデザイン」で、外国

の方、障害のある方、年配の方など、なるべく多くの方が快適に滞在できるように、車いすの利用を想定し、客室、お風呂を広げました。ヤマト様からご提案のあった「自然対流式熱交換器内蔵浴槽」は、限りある資源である源泉を有効に利用できます。温泉が本来持っている効果を保持し、源泉かけ流しに対応できるため、理想的な装置だと感じています。インシャルコスト面でも負担が軽く、エネルギーの利用も比較的少ないので環境にも優しい装置です。今後、改修工事を予定しており、この装置を導入する計画です。

## 辰巳館 三温

- 体を癒す温泉の温もり
- 心が和む人との温もり
- 旬を食す炭火の温もり



自然対流式熱交換器内蔵浴槽が導入された風呂



新設貸切風呂の風呂とデッキスペース

### 自然対流式熱交換器内蔵浴槽

下層に直径80mm、幅700mmの円筒形の熱交換器を備え、下層で温められたお湯が上層に上って対流する。適温に自動制御され、温泉が少量・低温でもかけ流しが可能になる。清掃は化粧フタを開けて洗浄するだけで済み、手間とコストの負担を軽減できる。

詳しくはこちら



### 湯張り・掛け流し

